

この度、第 117 回あしぎん景況調査の結果がまとまりましたので、別紙の通り発表させていただきます。今回のポイント及び概要は下記の通りです。

記

1. 今回のポイント

企業の業況感は、製造業を中心に緩やかな改善が続いている。

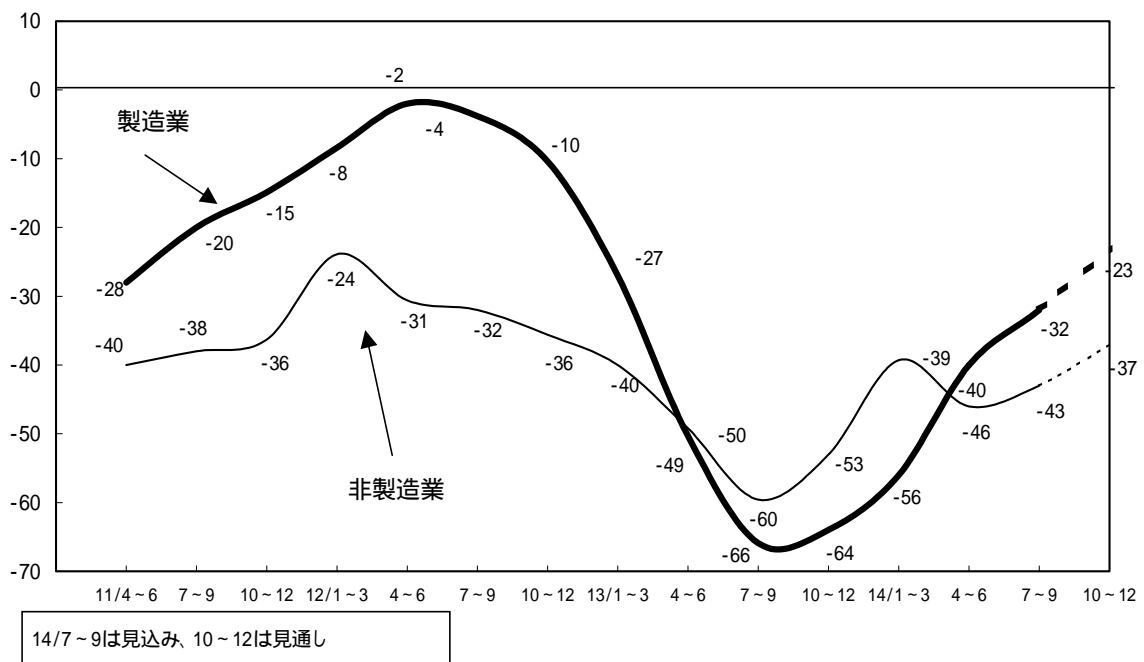
今期(14年7~9月期)の業況判断D.I.値は、製造業が 32、非製造業が 43 となった。前期(14年4~6月期)に比べ、製造業が8ポイント、非製造業は3ポイントそれぞれ改善した。

来期(10~12月期)は、製造業が 23 と今期に比べ9ポイント、非製造業は 37 と6ポイントそれぞれ改善する見通しである。

製造業は、輸出環境の改善や在庫調整の進展により生産が増加しているため、業況判断D.I.値は5期連続でマイナス幅を縮小するなど回復基調となっている。一方、非製造業では小売など一部の業種に明るさが見られるものの、全般的には横ばいとなっている。

先行きについては、個人消費など需要面の弱い動きが続いていることや、設備や雇用の過剰感が依然として高止まっていることなどがリスク要因となっている。

業況判断D.I.値



2. 概要

(1) 製造業

今期実績見込み(14年7～9月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	32	前期比	+	8	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	27	前期比	+	5	ポイント
	(水準D.I.値)	10	前期比	+	4	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	68 %	前期比	+	3	ポイント
	(投資額D.I.値)	7	前期比	+	15	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	31	前期比	+	1	ポイント
	(適正水準D.I.値)	14	前期比		5	ポイント

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「需要減退」、「消費者(製品)ニーズの変化」の順となっている

来期見通し(14年10～12月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	23	前期比	+	9	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	22	前期比	+	5	ポイント
	(水準D.I.値)	2	前期比	+	12	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	65 %	前期比		3	ポイント
	(投資額D.I.値)	19	前期比	+	12	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	29	前期比	+	2	ポイント
	(適正水準D.I.値)	15	前期比	+	1	ポイント

(2) 非製造業

今期実績見込み(14年7～9月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	43	前期比	+	3	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	32	前期比		6	ポイント
	(水準D.I.値)	9	前期比		0	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	54 %	前期比	+	1	ポイント
	(投資額D.I.値)	33	前期比	+	0	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	15	前期比	+	2	ポイント
	(適正水準D.I.値)	9	前期比		4	ポイント

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「需要減退」、「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(14年10～12月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	37	前期比	+	6	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	24	前期比	+	8	ポイント
	(水準D.I.値)	2	前期比	+	11	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	44 %	前期比		10	ポイント
	(投資額D.I.値)	26	前期比		7	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	15	前期比		0	ポイント
	(適正水準D.I.値)	6	前期比		3	ポイント